

第503号 2016年1月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1
広大附高内アカシア会館
TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 586回 例会

会長挨拶



明けましておめでとうございます。会員の皆さまには良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、創立110周年記念式典・記念事業を開催致しました。この度は母校を含め内輪だけの記念事業に留まらず、広く外に向けて発信し、「宇宙フォーラム」は市民、学生の方々にご参加頂き、地域への貢献を大きくアピールした事業となり、附属魂を示し、将来に向けて輝き続ける大きな節目となりました。また学校へのご寄付につきましても多くのご支援を賜り、本年1月新食堂も完成する事になります。本当にありがとうございました。

折しも被爆70年。先輩方が残された多くの附属に関わるご功績に感謝の念と哀悼の意を表し8月6日母校にて慰霊祭を執り行いました。過去の偉大な功績の回想と将来への展望の熱意の交差する一年でした。

本年はアカシア会を今以上に強固にする為、各運営委員会を立ち上げ、また地域アカシアも含めた交流をますます深めていく所存です。どうか本年も会員皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

アカシア会会長 向井 恒雄(50回)

母校の食堂リニューアル

昨年10月に始まった食堂改修工事が12月に完了、1月8日(3学期授業開始日)にオープン。



白い壁とフローリング、LEDの照明、新しいテーブルと椅子でさわやかな空間ができあがった。緑をアクセントにした厨房をシャッターで閉じれば、営業時間外も生徒らの憩いの場となる。



白い外壁と淡いグリーン屋根



清潔な厨房

広島アカシア会 1月例会(586回)のご案内 ～新年互礼会～

日時：平成28年1月16日(土) 午後6時30分
場所：ひろしま国際ホテル ※開催日程・会場が通常と異なります。
(広島市中区立町3-13 TEL082-248-2323)

「テレビの裏側」

テレビ朝日ディレクター 伊藤 賢治氏(81回)

テレビ朝日に入社して20年。ワイドショー、ドキュメンタリー番組を経て、報道ステーションのデスクをしています。これまで経験した取材現場や、番組制作の裏側などについてお話ししたいと思います。

2月例会：2月17日(水) 午後6時30分

場所：ひろしま国際ホテル
卓話講師：サンフレッチェ広島社長 織田 秀和氏(70回)

3月例会：3月20日(日) 午後6時30分

場所：ひろしま国際ホテル ※日程が通常と異なります。
卓話講師：宮崎県知事 河野 俊嗣氏(73回)

広島アカシア会の懇親会費は4,000円(84回以降の卒業生3,000円)
アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越し下さい。

2016年版 アカシア会会員名簿

好評販売中! 1冊 3,600円

2015年11月に発行した桃色の表紙の名簿です。
お求めは同封の払込票で下記口座へご送金ください。
☎01300-4-13111「アカシア会」



Contents

会長挨拶、月例会案内、食堂写真 …… 1	東海アカシア会、岡山アカシア会、 九州アカシア会 …… 10
地域代表者懇談会、常任幹事会、 110募金者名簿、運営会費納入お願い …… 2	呉アカシア会、東北アカシア会 …… 11
友誼の御園 …… 3	元教官の会、職域・クラブだより …… 12
アカシア探検隊 小島明子氏(83回) …… 4	同期会だより …… 13
アカシア夜話 高田勇氏(41回) …… 6	ライブラリー、会員名簿広告主 …… 14
阿川弘之氏追悼、いろいろアカシア情報、 地域アカシア案内 …… 8	出てもらうてもええかいのお、ミニギャ ラリー、事務局だより、計報 …… 15
東京アカシア会、近畿アカシア会 …… 9	12月例会レポート、会報編集委員会 …… 16

第8回地域アカシア会 地域代表者懇談会

平成27年11月7日(土) ANAクラウンプラザホテルで開催された。

向井恒雄アカシア会会長(50回)の開会挨拶、議事録作成者と認証者の指名、出席者紹介に続き、以下の議事について意見交換が行われた。①春季常任幹事会での質問事項について、②110周年記念事業経過報告、③地域アカシア会の近況報告。

地域アカシア会からは運営状況につき下記のように報告された。

広島アカシア会：11月に通算584回例会を開催し、10月には通算500号の会報を発行した。1月から月例会会場がひろしま国際ホテルに変更。

北海道アカシア会：3月7日に13名の出席で設立総会、6月30日には新卒生の歓迎会を催した。

東京アカシア会：秋の総会では約120名の参加があった。中止していた会報を再開し、年2回の発行を目指す。

東海アカシア会：総会の出席者は27名だった。90歳を超える高齢のメンバーの為に、インターネットを経由した参加の試みをした。

近畿アカシア会：エリア居住者は1000人足らず。会費納入者は約100人。会員拡大に努めたい。

岡山アカシア会：総会には33名の出席者。運営について大本栄一会長(27回)の尽力に負うところが大きい。

呉アカシア会：2月と8月に例会を催す。女性が来やすいように12時からの開催としている。女性会員のより多くの来場を望む。

最後に大方幸三幹事長(46回)がアカシア会の活性化のための活発な意見交換を要請して、閉会の挨拶とした。



出席者(敬称略)：アカシア会 向井恒雄(会長50回)、大方幸三(幹事長46回)、甲斐稔(事務局長63回)、井藤壯太郎(常任幹事50回)、東京アカシア会 福田真(会長55回)、近畿アカシア会 堀内重明(会長50回)、東海アカシア会 坂本利彦(監査役55回)、岡山アカ

シア会 横手靖吾(常任幹事54回)、呉アカシア会 堀川重幸(会長47回)、北海道アカシア会 増村哲史(幹事68回)、広島アカシア会 吉中康磨(会長50回)、母校創立110周年記念事業実行委員会 本田和哉(委員長62回)、木坂俊治(行事運営部会長67回)

常任幹事会



平成27年11月7日(土) ANAクラウンプラザホテルで開催された。向井恒雄会長(50回)の挨拶に続き、次の通り進行した。

<報告事項>(1)事業の進捗及び予算の執行状況：①会報発行②会員名簿発行③各地域アカシア会との交流④原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い⑤予算の執行状況。新たに各委員会を設置、会報編集委員長に陰山秀明常任幹事

(63回)、名簿委員長に田島正敏常任幹事(59回)、広告委員長に榎本良二常任幹事(69回)、財務委員長に木坂俊治常任幹事(67回)が就任し、それぞれの職掌につき再検討等を行う。(2)運営会費納入状況(3)母校創立110周年記念事業の経過報告：12月中に食堂の整備改修が終わり、3学期授業開始日よりの使用が見込まれる。

<協議事項>学年幹事会開催と再編成について。

最後に大方幸三幹事長(46回)が、指名された各委員長の健闘を祈念し、閉会した。

アカシア110募金者名簿

平成27年5月以降入金分(敬称略)

- 40回 佐々 淳之
- 41回 戸井 良治
- 43回 村上 啓一
- 51回 豊 順子
- 52回 篠田 義博

(43回村上様は平成27年3月にお振込みいただきおりましたが、前回のリストに掲載しておりませんでした。お詫び申し上げます。)

運営会費納入のお願い

アカシア会の健全、永続的な運営の為に、75回(卒業後30年)以前の卒業生全員に一万円の運営会費をお願いしています。まだ納入いただいていない方には振込票を同封していますので、是非とも会費一万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

安定した運営体制を次世代に引き継いで行く為にも、同学年やお知り合いの方にお声をお掛けいただくようお願いいたします。

卒業回別納入者数(2015年12月7日現在) 対象会員数5984人・納入者数3773人・納入率63.1%

卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入	卒業回	現会員数	納入
17回	1		32回	14	6	47回	156	116	62回	173	110
18回	1		33回	14	7	48回	162	156	63回	170	112
19回	2	1	34回	23	9	49回	155	112	64回	171	88
20回	1		35回	29	14	50回	170	124	65回	180	111
21回	1		36回	29	7	51回	156	136	66回	183	111
22回	1		37回	21	9	52回	163	122	67回	179	110
23回	3		38回	61	25	53回	180	117	68回	170	101
24回	3	1	39回	45	11	54回	177	99	69回	177	102
25回	2	1	40回	70	29	55回	180	109	70回	185	129
26回	4		41回	64	31	56回	174	108	71回	157	102
27回	4	1	42回	66	22	57回	170	139	72回	176	127
28回	4	2	43回	144	136	58回	161	96	73回	171	80
29回	14	6	44回	151	114	59回	184	117	74回	171	83
30回	6		45回	113	82	60回	169	95	75回	173	57
31回	10	1	46回	112	86	61回	178	103			

学年ごとの納入状況をお知りになりたい方は事務局までお申し付けください。

「平和は楽しい」

私達は地球の人達と音楽と一緒に楽しむ事で

「人の心に平和のとりでを築く」活動を推進していきます。



NPO法人音楽は平和を運ぶ

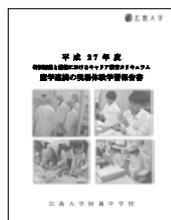
〒730-0041 広島市中区小町6-30 PELRA101
Tel:082-247-8604 http://music-peace.jp

友誼の御園 ～母校だより～

地域で 中2産学連携現場体験学習

11月5日(木)にキャリア学習の一環として、中学校2年生が広島市内・東広島市内の計12か所の事業所に分かれて現場体験学習を行いました。事前学習では、広島大学産学・地域連携センターの穂丸壽美氏より「地域や社会に貢献した職業について」のご講話を頂き、体験当日は、実際に仕事をしている事業所の方々から業務内容の説明を受け、業務体験をさせていただきました。ご協力いただいた小尻泰史氏(70回)をはじめ、ご支援いただいたアカシア会の皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

広島大学生物圏科学研究科附属瀬戸内圏での体験を終えて



小松 美月 (中2)

今回の農場での現場体験学習は、青い芝で形作られた牛の顔の出迎えて始まりました。県内に2台しかないロボット搾乳機の見学や、長靴をドロドロにしながらみんなで協力した除糞作業。飼料作りやエサやり体験、動物たちとのふれあい。どれも貴重な経験で、帰るときには農場ならではのあのおいでさえ、名残惜しく・・・。

印象的だったのは職員の方々や牛一頭一頭の表情や性格についてお話しなさっている姿です。動物たちへの愛情に、この仕事に対する誇りが重なって見えました。自分の将来や働くということにこれから思いをめぐらすとき、お仕事をされていた職員の方々の真剣なまなざしが一つの指針になると思います。

最後になりましたがお世話になった事業所の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

【訪問先】

広島大学附属幼稚園/同射光科学研究センター/同ナノデバイス・バイオ融合科学研究所/同生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター(西条ステーション)/同(技術センター)/(株)ツーセル/(株)サタケ/(株)あじかん/コーポレーションパールスター/(株)マツダ/(株)にしき堂/広島銀行/広島大学生協



国内で 高II修学旅行 東北アカシア会との交流

11月4日～7日の日程で、東北・関東方面に行きました。本校が修学旅行で東北を訪れるのは初めてであり、特に今回は東北アカシア会に全面協力をいただき、準備の段階から関わっていただきました。

◆1日目の夜に宿泊先の一室を借りて現役生有志と東北アカシア会有志(二井谷友公(73回)、須藤和恵(82回)、山重大樹(101回))で懇談会を開催しました。

生徒さんたちからの質問に答える形の対話形式で話題は様々に広がり、1時間あまりの時間はあっという間に過ぎてしまいました。この度の企画では、私たち卒業生も多くのことを学ばせていただきました。何より、東北アカシア会がひとつの気持ちになって活動できたことが本当に大きな収穫でありました。高校時代に一丸となって打ち込んでいた体育祭や文化祭と同じように、世代と空間を飛び越えて瞬時にひとつになることができる「附属魂」を感じる事ができました。(写真左)

二井谷 友公 (73回)

◆2日目、三陸鉄道盛駅前の施設でスライドを使いながら約1時間程度、大船渡市の現状と展望をお話ししました。東北に来たという事実をしっかりと持ち帰って、自分で見たこと感じたことを広島の皆様伝えてもらえればと思います。(写真右) 角田 陽介 (82回)



↓作並温泉にて懇談会

↓三陸鉄道盛駅にて

↑伊達政宗像(仙台城)

先輩方との交流を通じて

修学旅行委員長 藤川 理沙子 (高II)

仙台に住んでおられる先輩方との懇親会では当時の附属の様子や大学受験、そして東日本大震災についてお話いただきました。ときには楽しく、ときには真剣に語ってくださり、とても有意義な時を過ごすことができました。

2日目に私のコースは三陸鉄道に乗るため岩手県大船渡市盛町に行き、卒業生である大船渡市副市長、角田陽介さん(82回)に震災当時とその後の復興の様子についてお話いただきました。

実際に復興に携わっている方から直接お話をうかがうのでは、やはり自分の中に入ってくるものが違うと感じました。

私たちは先輩方との交流を通し、自分たちもこの附属のつながりを大切にしたいという気持ちを再認識し、自分が今なすべきことをやっという励みになりました。

海外と グローバル教育推進プログラム

本年度、広島大学から支援を受け、一昨年度から始めた海外交流を継続して実施しました。訪日の時期は異なりますが、韓国、チェコ、ドイツから総数23名の生徒と6名の引率者を受け入れ、ホームステイをしながら研修を行いました。また12月末にはタイへ訪問して研修するというプログラムです。

次回「友誼の御園」で合わせて詳しく報告します。

アカシア夜話 アカシアンナイト
第14話 (41回生の原爆の記憶)

広島で昭和20年8月6日に起きたことを語る時、市内の建物疎開の動員中に中学校や女学校の1、2年生が甚大な被害を受けたことを避けるわけにはいきません。

しかし、附属中の1、2年生だけは例外で、原爆による死亡は残留組の1年生10名、2年生1名と非常に少ないのです。そこには、先生方の冷静な判断がありました。原爆投下の2週間前、農村動員の名の下に1年生は賀茂郡原村(現 東広島市八本松町原)に、2年生は豊田郡戸野村(現 東広島市河内町戸野)に疎開していたのです。

そして、8月6日朝、懐かしい広島の家族に会うために、広島に向かってる附中1年生がいました。その特別な体験、そしてやっと会うことのできたお母さま、お兄さまを、1ヶ月後、目に見えない放射線の影響で亡くされたこと、70年経ってなお慕る思いを、高田勇さん(41回)に伺いました。

昭和20年4月

甲斐：高田さんは、昭和20年(1945年)の入学ですね。**高田**：そう、明治39年(1906年)にできた校舎をギリギリ知るとるんですよ。かなり古かった。門を入るとコの字型の校舎で北側に北組と東組、南側に南組、雨天体操場や図書室もありました。2階建ての木造校舎で、敷地内に小・中・高師・文理大があって「四つの学び舎」という歌がありました。**甲**：狭いですよね。合同の運動会っていうのは、どこでやっていたのですか。**高**：(昭和初期の地図を見ながら)ここに(現在の中区平野町辺り)大学グラウンドってあるでしょう。ここです。うちの兄貴は附中31回じゃけ、親父と何回か見に行った。兄達が三八式歩兵銃で空砲の斉射のパンパンという大きな音が怖かったのをよく覚えてます。

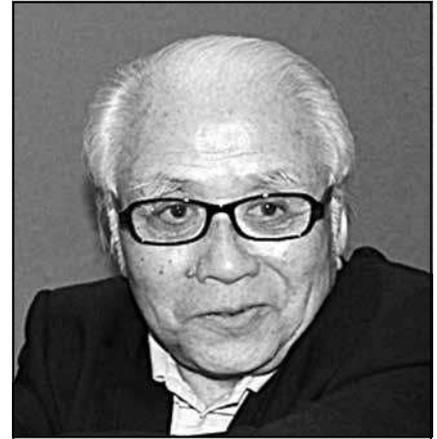
農村動員挺身隊

岡田：でも、入学後まもなく疎開されたのですよね。**高**：疎開じゃないんよ。農村動員挺身隊。僕らは、出征などで働き手のなくなった農家の手伝いをするのだと、意気揚々と原村に向かいました。広島から逃げるなんて気はさらさらなかったし、まさか原爆が落ちるなんて思わなかったからね。**甲**：でも先生方は逃がす方便を考えたということなのでしょう。**高**：そう、私が言いたいのは先生が賢明だったということよ。それは今の時代でも同じじゃけど。時流に流されず、冷静に判断された。よそは皆亡くなってるでしょう。**甲**：建物疎開に行った方は、ほぼそのクラスが全滅していますよね。

高：我々のところ是不運な1年生が10人、2年生は1人、授業中の科学学級4年生が2人。**甲**：県下の中学に建物疎開の話が出たとき、附属の先生を皮切りに、危ないといふん言ったけれど、結局逆らえなかったとか。**高**：そう、でも国立だから、県の言うことを聞かなくてもよかつたし、とにかく動員という名目で。このことは84年に出した「昭和20年の記録」にも書いてある。**甲**：しかし、原村へ行かれたのは、後から見れば、ぎりぎりのタイミングでしたね。**高**：科学学級の優秀な生徒を死なせてはいけないということで、まず、科学学級の1～3年生の疎開が比婆郡東城(現 庄原市東城町)に決まり、次に2年生が父兄の協力で戸野村へ行くことが決まりました。しかし、1年生の受け入れ先がなかった。食糧事情の悪い時に、食べ盛りの子供たちを引き受けてくれるはずがない。農業科の宮岡力先生がほとんど困っておられるのを、ご実家のお父さまが見かねて、近所の農家を説き伏せ、原村で受け入れようと言ってくださったそうです。これも大正3年(1914年)から農業科(園芸)を附属に導入してくれていて、宮岡先生が附属におられたからこそできたことです。**甲**：農業(園芸)という科目があるとは知りませんでした。**高**：だから附属には千田町に農園があったでしょう。同級の及川(洋一)君や田村(慈朗)君は、当日この農園へ行く途中に生き埋めになって亡くなったのですよ。(他にも十数人の大火傷者がいた。)

8月6日

甲：ところで、なぜ、8月6日当日、高田さんたちは広島に向かっておられたのですか。選ばれて、報告書のようなものを届ける使命があったと伺ったのですが。**高**：新井君がなにか報告書を預かっていた。後から聞いたら、大したことは書いてなかったらしいけど。逆に言うところそういう名目がないと汽車の切符が買えなかった。わたしが選ばれたのも、農家の手伝いにたくさん回数行ったというだけです。新井(俊一郎)君、笠間(弘丈)君、西川(亮)君、西川(廉行)君、私、そしてたまたま面会に来られていた永谷(義和)君のお母さまと偶然会って、6人で広島に向かいました。前の晩はしゃぎすぎて、始発に乗り損ねました。もし始発に乗っていたら、早よう広島について、わたしらは死んどる。7時半ころ原村教順寺(八本松駅まで4.5km)を出て、七つ池の辺りで早弁をしました。その時、ブーンと音がして、B29が広島の方へ飛んでいくのが見えました。気象を確かめる観



P r o f i l e

高田 勇氏(41回)略歴

特記すべき事 下記の如し

1945年 栄えある附中入学4ヶ月後アメリカ空軍B29による原爆攻撃により両親、長兄他、幼、小、中、女学校の友達、知己、親類等50人以上を一度に失う。痛恨極まりなし。1994年 新さくら丸で、西廻りにて世界一周。2012年 広島県歯科医師会より8020ベスト10受賞。2009年 喜寿の歳“地獄の1丁目”迄行くも“まだ現世での修業が足らぬ”と追い返され現在に至る。

測機だったのでしょう。

八本松駅(広島から20km)で汽車を待っているとき、ピカッと光が来た。これが8時15分。あら、なんかの思うて。その後、どどどと振動と轟音、おかしいと思ったら今度は衝撃波が来て、耳がツーンとした。窓から見ると落下傘が2つか3つ見えた。そして、山と山の間から、キノコ雲がもくもくと湧き上がってきました。「何かな何かな？」と言いながら、8時半ころ汽車に乗りましたが、瀬野(広島から10.6km)まで行ってそこからは動かなくなった。ガスタンクの爆発だという話だった。迷ったけれども、もう原村には帰りたくない、広島に向かって西国道を歩き始めました。

中野の砂走(現 安芸区中野1丁目)の辺りで逃げてくる人と出会うようになりました。皆、顔が真っ黒で、皮膚が垂れ下がった腕を前に突き出して歩いていた。空から石油を撒いて火をつけたと言っていた。**岡**：誰も何が起こったかわからないのですね。**高**：何がなんだかわからなかったね。私らも広島へ向かうのに必死で。8月の暑い時によく脱水にならんかったと思うね。負傷者を乗せたトラックもやってきた。遠くに比治山が見えて、鳥居が見えるのに、そのそばの御便殿(日清戦争時、帝国議会が広島に仮設置された事に伴って、天皇陛下の休息所が設置された。日清戦争後これを比治山に移設し御便殿と呼んだ。)が見えない。何があったんだろうと思いました。海田市付近では屋根瓦が捲れたり、窓ガ

ラスが割れていて、不思議な感じでした。

東大橋では憲兵隊がおって、市内に入っちゃあいけないと言うのですが、新井が例の書類を見せるとすんなりOKになりました。甲：やっぱり国立の強さですかねえ。高：そう。皆と別れて、段原の実家に行きましたが誰もおらんので、みんな死んだかと思うた。大正橋、広島駅、東練兵場、大内越峠(おちごだお)を抜けて、もしもの時は逃げるようになっていた中山村へ向かいました。岡：爆心地の方へは行かれなかったのですね。高：燃えてないから大丈夫のような気がして。今思えば、もう燃え尽きとったんじゃないね。中山村に入ると夏螢が光っていたのを覚えてる。そして、とうとう踏切のところで、母と兄に出会うことができました。私は現在83才になるけど、あれほど大声で泣いたのはこの時だけです。甲：ほっとされたのですね。ご家族はどちらで被爆されたのですか。高：原爆投下時、家族は鉄砲町の社宅の茶の間にいたそうです。母と長兄は爆風で吹き飛ばされ、隣室に掘った防空壕に転がり落ちた。父は落ちてきた天井の下になり、即死だったと思われる。すぐ隣で呼んでも返事がなかったそうだ。母と兄もそのままでは蒸し焼きになったかもしれませんが、隣の方が助け出してくれた。一緒に上流川通り、泉邸(現 縮景園)へと裸足で逃げ、鯀で川を渡り、饒津神社で同級生の久保田訓章君(現 広島東照宮宮司)のお母様から下駄を貰って、中山村へと逃げたそうです。でも、その時はほとんど無傷だったのですよ。翌日、兄と二人で京橋通りを通って、鉄砲町の社宅に行きました。通りは両側から焼けた家が倒れて道路がふさがっていて、真ん中がわずかにへこんどる。そこを歩いて行った。家は全焼していてまだ熱くて、中に入れなくて、諦めて福屋の横を通って、学校に向かいました。報告しようと思って、馬鹿正直に。平田屋川言うて、今は埋め立てて並木通りになっているけど、そこを通って行った。で、ここらが雑魚場町(現 中区国泰寺町1~2丁目及び小町)で、一中はここでたくさん亡くなった。甲：建物疎開の作業中ですね。女高師附属女学校、女学院、第二県女の約1800人が亡くなった



次兄の入営に際して昭和20年4月撮影：後列左より、本人 勇、長兄 正弘、次兄 弘夫、前列左より、母 嘉子、祖母 リノ、弟 資生、父 肇

のもここですね。高：そう、県師附小(現 広大附属東雲小)の友達も亡くなったのですよ。ここが爆心から800m。母校も焼滅していただけど、文理大には桂(喜一)先生や満窪(鉄夫)先生がおられました。さらに翌日、鉄砲町で父の遺骨を拾うことができました。高温で焼かれて、真っ白な遺骨でした。

お母さま、お兄さまの死

高：兄はかすり傷程度で、軽傷者として町内の手伝いをしたりしていました。私は7日8日と市内を歩き、9日は休養、10日に母と二人で三原市郊外の母の実家で3泊、13日に八本松で途中下車し原村に帰って、15日に終戦、18日に広島へ帰りました。帰ってみると兄はひどく衰弱した状態で、寝たり起きたりになっていました。25日ころには高熱が出て、体中に赤い斑点(内出血)が出て、口腔内にも出血し、9月2日遂に息を引き取りました。22歳でした。そして、5日には母も同じようにして亡くなりました。比治山山麓に穴を掘って、雨の中軽油をかけて、弟と二人で火葬しました。

鉄砲町の社宅があったのが、爆心から1km弱。この1kmの距離が生死を分ける。1km以内で被爆した人は、屋内外を問わずほとんど亡くなると。近所の方もその時は逃げとるけど放射線です。母や兄が亡くなっていくのをそばで見ている、その時はわけがわからなかった。一昨年のNHKの特集「終わりなき被爆との戦い」でやっていただけど、放射線によって染色体が分断されて、修復できずに細胞死(アポトーシス)するのだね。そのようにして、たくさんの細胞が死んでしまうから、臓器がやられるし、出血する。免疫系もだめになって、感染症を起こす。母や兄はこの亜急性の放射線障害で亡くなったのだろうね。岡：目に見えないから怖いですね。高：今、福島のことがあるけど、目に見えんから、ピンと来てない人も多いだろうね。兄 高田正弘は附中の31回生だから、慰霊碑に名前があります。これは兄の広島高校の卒業アルバム。ほら、検閲をくぐって、こんな写真を貼っている。(アメリカの女優さんとの合成写真)実際には知恵者が居て、検閲の後貼ったらしいけど。私はこの兄の影響をものすごく受けていたのですよ。顔も似とるし…。

終戦後

高：原村の南部兵舎で、泊まり込みで学校が再開されました。寒くてねえ。2月に広島から通って良くなった時はうれしかった。毎日、復員兵でいっぱい汽車に乗って通いました。2年生になった時に西条町吉土実(現 東広島市土与丸)の吉土実国民学校へ移ることができた。そ



生徒手帳の誓詞と生徒訓練

の頃には旧校舎で被爆死された科学学級4年の加藤恭三さん(38回)のお父さまが、材木を提供してくださり、新校舎の建設が始まっていました。

そして、昭和22年(1947年)1月より千田町の新校舎で3学期、4月には学制が変わり、男女共学となって女子(43回)も入学してきた。もう、これは大事件。クラスもAからEの5クラスになりました。先生方は大変だったでしょうね。

これは1年生の時にもらった生徒手帳、「我らは天皇陛下の学徒なり…」って誓詞があるでしょう。戦時中これを読まされよったけど、戦後、小谷(等)先生が作った創造、貴節、責任、信愛の言葉に書き換えたんですよ。自由の世界になったからね。映画館や喫茶店に入ったらいかんっていう規則も、勝手に[可]に書き換えた。甲：高田さんが可にいただいたお陰で、後の僕らがその恩恵を受けたんですね…。高：まあ、原爆地獄と食糧飢餓時代を経験した者には最早怖いものはないよ。

編集を終えて

今回のインタビューでは、様々な資料を見せていただきました。当時の高田先輩の日記は、13歳の少年が書いたとはとても思えない大人びた字で、日本のために戦いたいという思いであふれていました。

また、最後の家族写真や、お兄さまの卒業アルバムなどを拝見しました。その中には広島高校講堂(現附属高校講堂)前での笑顔の 写真もありました。

これらを拝見して、70年前、家族の平和や少年の青春が、たった1発の原子爆弾によって壊されたことが、改めて現実として迫ってまいりました。そして、高田さんが何度も繰り返しておっしゃっておられた放射線障害の怖さも。

母校には先輩方の作られた、謝恩碑(昭和56年建立 附中1年生の命を救った母校の決断に対する謝恩の碑)や原爆死没者・戦没者慰霊碑があります。是非、碑の前で足を止め、今一度母校の歴史を振り返ってみてください。

編集：岡田 美香(76回)

編集：宮井 ふみ子(76回)

文責：甲斐 稔 (63回)

阿川弘之氏を偲ぶ

昭和8年、附中に入学して最初の友人となったのが、私の後席に坐っていた阿川弘之君であった。色白で背が高く、どこことなく垢抜けしたお坊ちゃん、ユーモラスな彼は忽ちクラスの人気者になった。

当時は毎年秋、全校生徒が原村の陸軍演習場で軍事教育を受けたが、1～2年生は鉄砲なしで、八本松駅から飯盒を手を現地まで歩いた。ふざけて歩いていた私は途中で転び、飯盒の蓋が開いて、おかずが全部路上に散乱してしまった。昼食時、阿川君は自分のぶんを半分私に分けて呉れた。

3年生になると、科学教室では2人掛けとなり、彼と私は並んで座った。博物の相原克己先生は愉快な方で、或る時、騒々しい教室に入って来られて開口一番、『此のクラスは喧しゅうてどうもならん！特に其処いらが一番うるさい！』と私達の机を指さされた。



写真提供：文藝春秋

静まり返っていたクラスは又々大爆笑。阿川君が呉れた、平成19年の暑中見舞いに、『附中の化学教室で机を並べてゐたのをつい此の間のやうに思い出します

70年の昔になってしまひましたね。』と当時を懐かしんでいる。

併し、戦時色が次第に濃くなって来た当時、クラスの中に、やっかみ半分から彼を『女々しい』と非難するものが現れ、クラス全体が暗雲に包まれた事があった。

阿川君は広高・東大へと進み、戦時中は海軍に、戦後は文学者として、遂には文化勲章を受章した。

その後間もなく開かれたクラス会では、幹事の山岡敏雄君から、『君は会場準備はしなくてよいかから、阿川君と今堀和友君に出席するように頼んで呉

れ。』と注文された。今堀君は東大の三部門の教授を務め、その後も多忙な、附小以来の同級生であるが、二人共応諾して呉れてホッとした。当日は週刊文春が写真を撮りに来て、翌週号に載ったが、中学時代、阿川君に罵声を浴びせたX君が彼の横でこやかに笑っている姿を見て、これで阿川君の心の蟬りも消えたと嬉しく思っている。

岡添 正 (29回)

阿川弘之氏(あがわ ひろゆき) (29回)

小説家、広島県名誉県民。日本芸術院会員。日本李登輝友の会名誉会長。文化勲章受章。代表作に、『春の城』『雲の墓標』のほか、大日本帝国海軍提督を描いた3部作『山本五十六』『米内光政』『井上成美』など。(出典：ウィキペディア)

生誕：1920年12月24日広島市
死没：2015年8月3日東京都(享年94歳)
学歴：東京帝国大学(現：東京大学)
ご息子は阿川尚之氏(法学者、エッセイスト)、ご息女は阿川佐和子氏(エッセイスト、タレント)

いろいろアカシア情報

◆東海アカシア会総会 2月28日(日)に総会を開催。

◆呉アカシア会第11回例会 2月14日(日)正午より呉阪急ホテルで開催。

東海・呉アカシアの詳細は、下記各地域アカシア会事務局へお問い合わせください。

アカシア会員ニュース

織田 秀和氏(70回)が社長を務めるサンフレッチェ広島J1リーグ制覇

サンフレッチェ広島が12月2日・5日のJリーグチャンピオンシップに臨み、2年ぶり3度目のリーグ制覇を成し遂げました。年末のクラブワールド杯においても三位という快挙。社長の経営手腕も含め、今後のチームの更なる成長に期待が寄せられます。

坂上 琴(さかがみ こと)

本名 山手 秀之氏(70回)

著書『踊り子と将棋指し』出版



第10回小説現代長編新人賞を受賞された坂上琴さん(会報498号でお知らせ)の著書が、平成28年1月6日、講談社より出版されます。応募時のタイトルは『ヒモの穴』でしたが、選考委員の講評を受けて推敲を重ね、加筆、改題したとのことです。全国主要書店にて発売(税込価格1,404円)。

このコーナーでは同期会・出版・その他会員の皆様の情報を掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

前会長 石井泰行氏ご逝去

前アカシア会会長の石井泰行氏(43回)が昨年11月23日、多臓器不全のため、東広島市の病院でご逝去されました。享年81歳。1996年



から15年間会長を務められ、母校創立100周年事業や組織改革、財政改革にご尽力されました。その後も名誉会長として当会を支えていただきました。

ここに謹んでお悔み申し上げます。(別紙にて追悼文集を同封しています。)

各地域アカシア会のご案内

地域	会長	事務局	行事予定
東京	福田 眞 (55回)	〒101-0047 千代田区内神田2-16-8 第5氏家ビル201 東京アカシア倶楽部内 中西 一彦(72回) Eメール k.naka24.chun@gmail.com	総会と懇親会 春・秋 次回は5月29日(日)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会 6月・12月
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tetssato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月・9月
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区山下1-1-13 様大本組内 TEL086-225-5131 大本 榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手 靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日 次回は11月12日(土)

地域	会長	事務局	行事予定
広島	吉中 康彦 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会 毎月17日 (原則として)
九州	山本 哲三 (61回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本 哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会 10月頃
東北	二井谷 友公 (73回)	〒981-3203 仙台市泉区高森7-16-12 前場 大二(89回) Eメール madeinyamaguchi@yahoo.co.jp	懇親会 不定期
呉	堀川 重幸 (47回)	〒737-0823 呉市海岸3-3-4 兼森 均(61回) TEL0823-23-1104 Eメール mj061915plan@yahoo.co.jp	総会と例会 8月・2月 次回は2月14日(日)
北海道	小林 仁 (59回)	〒047-0261 小樽市銭函1-29-17 (有)増村不動産鑑定内 増村 哲史(68回) TEL0134-61-5525 Eメール masumura@almond.ocn.ne.jp	総会 5月頃

東京発

世代を「つなぐ」東京アカシア会 平成27年度秋季懇親会

ハロウィーン当日の10月31日(土)。四ツ谷のスクワール麹町にて、恒例の東京アカシア会秋の懇親会が行われ、約120名に参加いただきました。

被爆70年の節目の年。戦争体験を「つなぐ」、ヒロシマを「つなぐ」、未来に「つなぐ」。「つなぐ」という言葉がキーワードとなりました。東京アカシア会では、40歳となる学年が幹事を務め、年に2回の会合を企画・運営していますが、これもまたタスキを「つないで」いるのだな、と携わってみて強く実感しました。

秋の懇親会では、春に続き、アカシア



ミニプレゼンテーション 右: 平井幸奈さん (左は司会の栗原順子さん)

メンバーのご活躍を紹介するミニプレゼンテーションを企画しました。快く引き受けてくださったのは、長年調理科学の研究を続けられ、この春瑞宝中綬章を受章された渋川祥子さん(45回)と、大学在学中にフレンチトーストのカフェをオープンした起業家の平井幸奈さん(101回)。今でこそよく聞く「リケジョ」の草創期から研究を続けてこられた渋川さんには、「炭火焼きはなぜ美味しいのか」をご説明いただきました。調理科学が、こんなに生活に密着した分野とは!平井さんには、自身が開発した朝食にぴったりの「グラノーラ」を、司会の栗原順子さん(82回)との掛け合いで、テレビショッピング風に紹介していただきました。



渋川祥子さん

企画の準備にあたり、お2人にお話をうかがいました。40歳の私から見て、40年近く先輩の渋川さんと、20年近く後輩の平井さん。お2人とも誇りを持って、かつ楽しみながらお仕事に取り組んでおられる姿がとても素敵で、こうやってアカシアのパワーは世代を超えて脈々と「つながれて」いるのかな、と感じました。

至らぬ点も多々あったかと思いますが、なんとかタスキを85回に「つなぐ」ことが出来ました。

次回は2016年5月29日(日) 15時より、会場は同じです。奮ってご参加ください。

11月7日記 長通 麻弥(84回)



カーブグッズ当選に笑顔!

近畿発

近畿アカシア会後期総会



12月6日(日)大阪阪第一ホテルで開催した。第一部の司会は副会長の皇暢子さん(46回)が担当し、開会に先立ち先般逝去された前アカシア会会長石井泰行氏(43回)を偲び黙祷を献げた。堀内重明会長(50回)の開会挨拶に続き、来賓のアカシア会会長向井恒雄氏(50回)から石井氏の数々のご功績並びに故人にまつわる種々のエピソードの披露があった。また110周年記念事業の食堂改修計画も順調に進んでいることの報告もあった。その後、最年長出席者の

上本和彦氏(35回)のご発声による乾杯へと進んだ。

会食からの司会は幹事の川村美貴さん(97回)が担当した。今回出席者は来賓を含め23名という記録的少人数だった。なかでも多いときには10名近く

出席されていた43回生(男女共学1期生)が今回はついにどなたも参加されなかった。今後の課題は70年代以降の若年世代の出席者を開拓していくことがあると言えよう。これをご覧の若年世代のみならず、次回以降の出席をよろしく願いたい。今回は出席者が少ないことから出席者によるスピーチを主にしたプログラムとした。トップは、当日が大阪セレッソの一部昇格を掛けた決戦の日であったことから途中退席を余儀なくされた鬼武健二氏

(48回)をお願いした。氏は現在はJリーグチェアマン等のサッカーの公職からも解放され時間的余裕もできたとのこと。川本和良氏(38回)は先日開催された上野徳恵さん(45回)のソプラノコンサートのことをドイツ語を交えて絶賛された。当日はアカシア会らしく裁判官である橋本耕太郎氏(76回)、弁護士の豊島秀郎氏(62回)の出席もあり、法科大学院生の三島あいさん(97回)は初出席した成果を感じていたようだ。

その後、福引きでは一等から三等までの銘菓に加え、上野徳恵さんから銘酒「大号令」も提供され、恒例のアカシアソング斉唱で閉幕。

次回は2016年6月5日(日)正午から、会場は同じです。ぜひご参加ください。

12月18日記 岡 國太郎(57回)

[前出以外の出席者] (38)香川昇、(41)村田好正、(45)日下善道、(46)見門忠雄、(51)清水邦夫郎、(64)田頭史明、(101)野中雄太、藤川詩織、(102)清山莉奈、高橋宏弥、渡邊紗恵

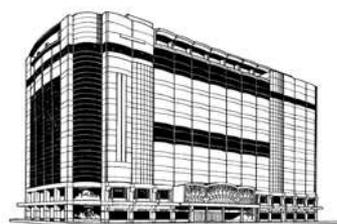
アカシア会報に広告を載せませんか?
一枠(1/10頁) 月例版1.5万円 全国版2万円



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly 皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

東海発

東海アカシア会・豊葦会 ビール会



まずは吉本さんから創立40周年当時のお話を。いつも写真を撮って下さる中村博之さん(43回)は110周年行事で同期会をしたことを。久々の末富博さん(45回)は広島から東京に戻る途中での参加でした。齋藤蒼さん(48回)は江戸城天守再建活動について熱く語られ、花岡正紀さん(48回)は同期の林滋さん(今回欠席)の新聞投稿の紹介を。小田千恵子さん(48回)はこの東海の会が発足した当時の思い出を、兼川徹さん(48回)は最近の旅行の数々を。坂本利彦監査役(55回)は参与でご活躍の漢字検定協会の紹介があり、宮川隆吉さん(57回)からはこの地区には同期の方が少ないとの嘆きも。110周年行事を機に帰省された安田健一さん(59回)、宇宙開発のリーダー養成に注

恒例の東海アカシア会・豊葦会ビアパーティを9月27日レストラン「ばかなる桜通店」で開催。向井恒雄アカシア会会長(50回)をお迎えし、ビアパーティ最多の23名が集まりました。

最年長の西田節子さん(豊葦会26回)はFaceTimeでのテレビ電話で参加、もはや恒例となりました。吉本幹彦さん(41回)のご発声で乾杯。沖信一会長(55回)のご挨拶の後、向井会長から創立110周年行事の報告とお礼、野球班・管弦楽班の活躍などお話いただき、続いて皆さんの近況紹介に。

力の田中秀孝さん(59回)、省庁を退任された鈴木政子さん(59回)と同期3人に。成瀬まり子さん(65回)は初孫ができたうれしさを。

今回のトピックスは72回が5人参加です。翻訳で忙しい常連の服部清美さん、どちらも単身赴任とマラソンのお話が共通だった奥村真一さんと田中千晶さん、10年ぶりに参加の重河真貴子さん、そして今回初参加の荒田治彦さんの5人になり、トップの座は初めて48回から72回に。

石田充さん(93回)は県土木の仕事で頑張っている様子を、初参加の忠田誠司さん(93回)は服部さんのご主人と同じ職場と分りびっくり。大いに盛り上がり予定時間を大幅超過しましたが、最後に校歌・学生歌を合唱してお開きとなりました。

次は2016年2月に総会を開催しますので是非ご参加下さい。学生無料です。

10月3日記 梶 幸一郎(81回)

岡山発

岡山アカシア会、2016年は第60回記念



2015年11月14日(土)、恩師の井ノ迫泰弘先生、向井恒雄アカシア会会長(50回)にご出席いただき、35名で懇談会を開催しました。井ノ迫先生は在職中、教育をよりよいものにしようと、率先して研究授業を担当されたそうです。この日も、ご自分が作成されたさまざまな教材を持ってきて見せて下さいました。廣大附属では、このような熱心な先生に教育を受けることができ

たのだと改めて有難く思いました。会では、食事を楽しみながら、数字の若い卒業回(つまり年長者)から順に全員が近況報告をします。どの方も、年齢を感じさせず若々しく活躍されていて、お話に後輩やみんなを思う気持ちが詰まっており、なるほど・と耳を傾けました。そんな中で、ある専門職の方が「私の商品は知性、自らを磨こうと思う」というような話をされ、な

るほどと心に沁みただことでした。実際、アカシア会自体が、そういうことを矜持としており、その共通の意識と文化で、許容的でありながら固く繋がっているようにも思います。今は3桁の卒業生までが参加するようになり、今年の新最若手は101回の卒業生でした。

岡山アカシア会は来年、第60回を迎えます。お近くの方、今は転居されている方、ご縁の方は是非2016年11月12日土曜日に後樂園を臨む岡山プラザホテルにご参集ください。60年の節目にご一緒に楽しいひと時を過ごしましょう。「同窓マジック」で一瞬にして高校時代にタイムスリップしますよ。

12月3日記 青木 三恵子(61回)

[参加者] (47)加藤修司、(52)近藤みち子、(53)大田淳、輪竹孝子、(54)今石瑞枝、横塚良昭、乙部憲彦、倉橋克文、清水幸登、(70)右手靖吾、米倉靖子、(57)岡國太郎、馬場正重、(58)小橋清二、(59)田中裕二、(61)青木三恵子、(63)田中知行、(68)飯田和恵、植田美穂子、戸板富久子、山口慎一、(72)沖原 巧、(77)田中久子、(79)稲垣美穂、藤川純子、村瀧 剛、(82)光元潤子、(83)真谷知恵、藤元宏行、(84)西森久和、(90)林 瑠子、(98)兼澤弥咲、(101)宮田将徳

九州発

九州アカシア会総会・懇親会



10月17日(土)に博多ANAクラウンプラザホテルにおいて、九州アカシア会第12回総会・懇親会が開かれました。第12回ということは、九州アカシアが創立されて12年目に入った訳で、昭和22年から始まった前身の福岡アカシア会と通算するとその歴史は68年になります。私たち幹事は、先輩たちが長きにわたって守って来られた九州地区のアカシア会の灯を消すことなく、地道に活動をする決意を新たにされた総会でした。

広島からはアカシア会の向井恒雄会長(50回)が駆けつけてくださり、母校の様子や母校創立110周年記念事業などについてお話をいただきました。

参加者は学生3名、一般23名、合計26名でした(初参加4名)。

卓話は、64回の河野操さん。今年還暦を迎え、中学時代から書き溜めた書に託された自分史を語られました。披露されたその書は数十点、その一点一点に書

いたときの思いが込められており、参加者は熱心にスクリーンに映し出された見事な書に見入っていました。河野さんは定期的に書の個展を開かれており、参加者にその案内状も配られていました。

懇親会では、ひとりひとりの近況報告もあり、皆さん興味深く聞き入っていました。

11月17日記 山本 哲三(61回)

[参加者] (50)向井恒雄、(55)花栗美百合、添田寛子、(61)河野博之、山本哲三、(62)豊原敏光、(64)河野操、(65)馬郡敏美、松本典之、山口孝則、(66)佐藤英博、谷正和、荒神一臣、岩國治、出原真理加、川上祐子、大草知子、(67)熊繁昭、(68)貞刈暢代、(71)内菌清、(80)楠英之、(84)田口健蔵、(87)喜多村紘子、(95)細川裕子、(99)古本政博、(102)中島潤

以上26名

呉発

呉アカシア会 総会・第10回例会



厳しい暑さが続く真夏の8月9日(日)に、呉阪急ホテルで呉、広島、竹原、東広島から29名の出席があり、平成27年度呉アカシア会総会並びに第10回例会を開催しました。総会前に国会会期中でご多忙の中、衆議院議員寺田稔様(66回)より、国政から地方への動きとして広島の被爆建物保存の予算化や地方創生元年として動き始めたことなどについて報告がありました。総会では、奥村誠哉副会長(49回)より26年度の事業報告及び27年度の活動計画として2

回の例会の予定について説明後、藤井貴子会計(75回)より会計報告しました。次に谷田部広志監事(65回)より、兼森均監事(61回)と帳票、現金出納帳、預金通帳等の監査結果、経理的に適正処理されていることを報告し満場一致で承認されました。

懇親会では、保田麻友様(93回)が“「被爆者体験」伝承者(次世代)の役割”と題して卓話を行いました。今年は戦後70年を迎え、次世代に伝えるべき真実と原爆体験談が被爆者の高齢化により消えないよう伝承者を育てる活動が進められていること。自ら伝承者となったきっかけや仕事をしながら3年間の研修でつらかったけれども、やりとげたこと。伝承する被爆体験者が

偶然にもアカシアの先輩であったことが力を与えてくれたこと。伝承者1期生130名の中から50名がデビューし、その一人となり、活動が全国に広がっていることなどのお話に一同心を打たれました。また、被爆者の一人として活動されている中西巖様(38回)から、被爆建物である被服廠の現状について紹介と保存に向けてのお願いがありました。昼食会では、村尾禮三郎様(47回)の音頭で乾杯し、各テーブルでは楽しい歓談が進み、校歌斉唱、記念撮影後に閉会となりました。

次回は2月14日(日)に第11回例会を予定しています。

10月29日記 谷田部 広志(65回)

[前出以外の出席者] (43)大之木精二、後藤吟子、(47)堀川重幸、湯浅純吉、(49)竹鶴寿夫、原田瑠美、中西登代子、(50)井藤壯太郎、(51)井之川義典、(52)殿村礼子、(55)岡本曼惺子、近森翠、(65)宮加谷靖介、(72)砂古伸二、(74)杉原敦、杉原ご子息、(80)堀口悟史、(83)横川淳、(85)栗栖史匡、(95)横谷脩治、(97)南谷怜聖

東北発

2015年東北アカシア会



平成27年10月24日(土)、すっかり秋が深まり、冬の足音が聞こえてきた仙台で、計8名にて、和気あいあいと東北アカシア会秋期懇親会を開催しました。

はじめに、事務局から、東北アカシア会会長について、野尻久会長(33回)から二井谷友公さん(73回)への引き継ぎを提案し、承認されました。これまで東北アカシア会を支えて下さった野尻会長、伊藤勝副会長(47回)には、心より感謝の意を表します。併せて、附属

高校の東北修学旅行への東北アカシア会の協力内容についても報告しました。

恒例の講話では、新生銀行仙台支店の金川誉也さん(99回)から、「証券営業の仕事と最近の金融市場の動向」をテーマに、現在ご担当されている業務などについてお話をいただきました。法人向けの金融の仕組みなど、普段なかなか聞く機会の少ない内容を知ることができる貴重な機会となりました。

今回も大いに盛り上がった結果、いつもどおり、会場から追い出される形での閉会となりました。

11月28日記 前場 大二(89回)

[前出以外の出席者] (56)高田豊治、(82)松田謙、(86)佐島育子、(101)山重大樹

附属高校東北修学旅行について

11月3日から6日までの附属高校の東北修学旅行において、修学旅行を充実したものとし、また東日本大震災からの復興状況をより詳しく正確に知ってもらうことを目的に、東北アカシア会での支援を実施しました。

【支援内容】○11月4日(水)、宿泊ホテルでの卒業生との懇談会を実施。東北アカシア会から二井谷会長(73回)、須藤和恵さん(82回)、山重大樹さん(101回)計3名が出席し、生徒と、震災だけでなく、附属での学生生活、進路等について意見交換。○11月5日(木)、大船渡市の角田陽介副市長(82回)から、大船渡市の復興状況等の説明。○その他、東北大学訪問、語り部の手配、JR仙台駅でのお出迎えなどの調整について協力。(3頁に関連記事)

「アカシア元教官の会」平成27年度(第24回)総会・懇親会



第4列 井藤幹治、有田正志、井ノ迫泰弘
第3列 永田龍男、室長大應、多田保行、南村俊夫、野中幹夫、世羅博昭、田中泉
第2列 三藤義郎、砂原徹、金丸キミエ、山本克子、林昭、溝上直美、片山一法、有田嘉伸、松井政明
第1列 三宅重徳、三上昭壯、鈴木俊哉、岩合一男、福森信夫、三浦省五、景山三平、太鼓矢晋

8月19日(水)、メルパルク広島において、25名が参加して開かれました。

総会では、会長の岩合一男先生(元校長・数学)の挨拶、幹事長の三宅重徳先生(英語)による会務報告、会計・監査報告の後、米寿を迎えられた岩合先生、三上昭荘先生(社会)にお祝いが贈呈され、ゲストの鈴木俊哉さん(66回)に「ピースキャンドルにかける思い」と題して講話をしていただきました。

懇親会では、景山三平先生(元校長)による乾杯の後、現副校長の砂原徹先生から「附属の現状」が報告されました。歓談の後、米寿のお祝いを受けられた三上昭荘先生(社会)、初参加の溝上直美先生(養護)、室長大應先生(理科)にスピーチをしていただきました。

11月14日記 田中 泉(66回)

職域・クラブだより

中電アカシア会懇親会



10月23日(金)、附属高校の三藤義郎副校長先生を来賓にお招きし、中電アカシア会の懇親会を広島アンデルセンにて開催しました。三藤副校長先生には、4月に行われた110周年記念行事の紹介、母校の設備状況や生徒の活動状況などをお話いただき、テレビ番組で取り上げられた体育祭のDVDも見ることができました。

当日は44回卒業の大先輩から100回卒業の若手まで32名の会員に出席いただき、楽しいひとときとなりました。今年度も、58回熊野義夫会長(中国電力顧問)のもと、参加いただいた皆様、開催にご協力いただいた皆様のおかげにより盛会とすることができました。

この場を借りてお礼申し上げます。
10月30日記 高下 弘司(74回)

平成27年度アカシア歯科医会総会及び講演会



平成27年9月19日(土)広島市内(福屋広島駅前店)において本年度のアカシア歯科医会総会及び講演会、懇親会が開催された。今回も45~103回生という幅の広い層からの出席を得た。総会では、元広島市歯科医師会長の森本克廣先生(54回)の旭日双光章受章の報告とともに、柄博治アカシア歯科医会会長(58回)より祝辞をたまわった。その後の講演会では、広島市内開業の柄先生より、矯正歯科医からみた親知らずの意義から臨床におけるアドバイスなどを、たくさんの症例写真とともにご教示いただいた。続いての懇親会では、参加会員の近況を報告し、学生会員、研修医の先生及び、広大教授と開

業会員との親睦を深め、今後の歯科医療への貢献を誓い合い散会した。

山木戸 隆子(74回)

アカシアサッカークラブ 現役戦・総会/激励会



去る7月18日に総会、翌19日に附属中学との現役戦が開催されました。総会後の懇親会は、サンフレッチェ広島に就任された織田秀和氏(70回)のお祝いも兼ねての開催でした。

吉田文次郎氏(43回)、大橋謙三氏(44回)をはじめ、野村尊敬広島県サッカー協会名誉会長(50回)、小城得達同協会会長(51回)ら30名の豪華な顔ぶれとなりました。中学生との現役戦では17名のOBが母校グラウンドに集まり、清々しい汗を流しました。若手とベテランの48歳の年齢差を感じさせない連携の良さで、楽しくプレーできました。

また、6月19日に織田社長の前後2

千葉スキンケアクリニック
CHIBA SKINCARE CLINIC

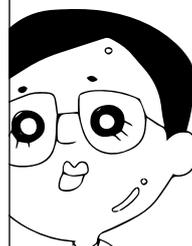
小西 毅(77回)

<http://chiba-skincare.jp/>

ミュージカル劇団
三ツ星 KITCHEN ホツギン

<http://www.mitsuboshikitchen.com/>

笑って、泣いて、
元気になるオリジナルミュージカル!



歌手・俳優

川上和之 (KAZZ) 第77回
<http://www.kazzcafe.com>

学年中心に激励会を開催したところ、恩師の野中幹夫先生、井藤幹治先生(66回)、河野俊嗣宮崎県知事(73回)も参加され、大いに盛り上がりました。

7月19日記 先本 賢司(71回)

アカシアサッカー三校OB戦



11月29日、恒例の三校対抗OBサッカー大会(国泰寺・修道・附属)が修道高校グラウンドで開催されました。試合は51回林道義先輩、52回林浩二先輩をはじめとする60歳オーバーの熟練パワー5名に、若手は86回生まで計19名の布陣で臨みました。対修道2-1、対国泰寺1-8、国泰寺対修道0-1と、勝ち点では並び、得失点差で国泰寺OBが優勝しました。61回古田篤良先輩の2点ゴールにはスタンドも大いに盛り上がりました。

表彰式・懇親会には三校計51名の参加で、優勝トロフィー授与後、70回織田秀和サンフレッチェ社長のCSに向けてのスピーチもあり、いつもながらの楽しい交流となりました。

11月29日記 先本 賢司(71回)

**アカシア・ベースボール・クラブ
平成27年度懇親野球大会**



平成27年8月14日 アカシア・ベースボール・クラブ(ABC:野球班OB会)の懇親野球大会が、母校グラウンドにて

開催されました。

還暦過ぎのベテランから成人になったばかりのフレッシュなアカシアメンバーまで、幅広い年代のOBが集まり、和気藹々とした野球大会となりました。

*1月3日の定期総会、8月14日の親善軟式野球大会は永久固定日程です。スケジュールを合わせて、是非ともご参加くださるようお願い申し上げます。 谷口 公啓(73回)

アマチュア無線班OB会



JA4YBRアカシアHAMクラブは、無線班創立以来52年連続参加となる、日本アマチュア無線連盟主催FDコンテストに合わせ、8月1日~2日に「野呂高原ロッジ」でのOB会を開催し、元顧問の松井坦先生ほか、関東・関西・広島から61~81回の計10名が参加しました。今回からコンテスト時間が3時間早まり、機材設営が間に合わない恐れがありましたが、好天に恵まれ、松井先生の電柱登りをはじめ伝統のチームワークを発揮し、順調に準備完了~夕食~宴会に移行できました。今年は徐々に電波状態も良く、毎時のスコアアップ報告でも大いに盛り上がりました。競技終了後は次回開催と下界でのOB会での再会を約束して下山しました。 11月18日記 手島 由裕(74回)

アカシアアーチェリー班OB会



昨年に引き続き、8月13日(木)にOB有志が広島市内で集いました。今回は県外組の帰省も加わり、昨年よりも賑やかな会となりました。今は全員がアーチェリーから離れた生活を送っていますが、弓が好きだった者同士の集まりとあって、懐かしい昔の部活や弓の話になると時間を忘れて盛り上がりました。これからも適時集まり、懇親の輪を広げていきたいと思っておりますので、多くのOBの方にもご参加いただけたらと思います。

11月15日記 木下 和敬(81回)

k.kino.acasut-arc@hotmail.co.jp

同期会だより

**鬼武健二君 日本サッカー殿堂入り
アカシア48回生有志祝賀会**



平成27年9月10日、アカシア48回生鬼武健二君が日本サッカーミュージアム内にあるサッカー殿堂に掲額されました。それを記念して、48回生有志による祝賀会が10月22日午後6時より中電工本社ビル20階のグリーンハウスにおいて開かれました。山浦孝行君の司会で、最初に鬼武君からサッカー殿堂入りについて簡単な説明がありました。続いて、附属小学校から高校まで一緒だった同級生を代表して中村成朗君が鬼武君のエピソードを色々語り、中村君の音頭で乾杯に移り、懇親会に入りました。昔話に花が咲き、予定していた2時間もあつと言う間に過ぎて散会となりました。

当日の出席者は男性24名女性12名(内、東京からの出席者3名)の計36名でした。サッカーミュージアム(東京

健康にまさる富はない



人間ドック、脳ドック、定期健診、がん検診
クリニック(内科・消化器内科・循環器内科・脳神経外科・乳腺外科・放射線科)

医療法人社団 朋仁会

広島中央健診所

副理事長 医学博士 岡本 賢(83回)

都文京区本郷3-10-5)のお近くに行かれることがありましたら、ぜひ見学してください。 中田 研一

49回同期会



今回は22名(内女性7名)参加のもと11月8日に貸切バスで広島から松江道經由玉造温泉にて開催した。途中「いずもめのう」伝承館を經由、白石家旅館に投宿。夜の宴は黄綬褒章の竹鶴寿夫君、瑞宝単光章の奥(若狭)育子さんを祝し、遠来の松尾雅彦君の挨拶で開始、旧交を温めた。その後安来節見物等を挟み、各室で二次会が深夜まで続いた。

翌朝は松江城の天守閣を征服。鳥根県立古代出雲歴史博物館を経て出雲大社へ。神楽殿でのお祓いで身を清めた後に本殿へ参拝した。「平成の大遷宮」後の新本殿は、折からの小雨模様でひときわ情緒を感じさせた。出雲そばで昼食の後再び松江道で戻り、広島駅で次の再会を約した。 11月11日記 土井田 泰

55回卒業の友との語らいの旅



アカシアライブラリー

寄贈資料の紹介

(2015年7月-11月)(敬称略・受付順)太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。

- ・図書「光芒―追悼 藤本巨一」 (51)小城 得達
- ・冊子「木馬13号・15号～18号」 (49)伴 由美子
- ・冊子「牧童昭和28～昭和31年発行」 (49)伴 由美子
- ・冊子1957から1958年の「うごき創刊号」「生徒会入門」「文化祭パンフレット」「附高新聞」「修学旅行の葉」「むつみ創立50周年記念」 (49)伴 由美子



伴さん寄贈の文芸部、生徒会発行冊子

級友とは時折のクラス会で会うものの、別の組の方々と会う機会はめつたにない。ひょんなことから9月末に同期17名による一泊旅行が実現した。

きっかけは、北九州・宗像地方に住む5組の花栗(平本)美百合さんに、この地方の歴史に詳しい谷本直さんが「あなたはすごい所に住んでいるよ。クラスのみんなで歩いてみよう」と提案したこと。当初は5組単独の予定だったが、110周年記念祝賀会の後のオープンクラス会で他の組にも声を掛けてみた。

旅のコースは宗像大社、古墳群、宮地嶽神社など。計画の最中に宗像大社が世界文化遺産指定地に推薦されることになり、ますます盛り上がった。日本のルーツともいえる場所を懐かしい友と語り合いながら旅をする。大切な思い出の1ページが増えた。

10月1日記 米門(上原)公子

アカシア65夏の会



8月29日(土)「菜づけ百屋」に65回生21名が集い、夏の会を開催しました。女子の圧倒的な勢力に対し、男子も負けじと応戦。いつもながらの大音量にお店の人もさぞ驚かれたでめいしょう。アツという間に制限時間が過ぎ、ほぼ全員が二次会へ。ここでも飲めや

歌えやのハッスルぶりは健在で、とても還暦直前とは思えません。0時を過ぎても、まだ飲み足りない面々は、広島県バレーボール協会会長重野陽一君に引き連れられ、元全日本選手のお店へと向かったのです。

5月21日～22日には、四国(祖谷温泉泊)の春合宿があります。また珍道中が繰り返されることでしょう。(詳細は65回掲示板サイトで)

10月10日記 中本 泰弘

98回卒業生の同窓会



8月15日。20歳を迎える成人式前の同窓会ぶりに声をかけて集まりました!仕事につき、社会人4年目となる人や医者を目指し未だ学生で頑張っている人、既に結婚をした人など、みんなそれぞれの道を歩んでいましたが、学生時代には話したことが少なかった人達とも集まれて大変楽しい時間でした。広島を離れた人が多い中、たくさんの方が集まり、会話できたことを嬉しく思います。今回集まってくれたみんなありがとう!!そして、今回参加できなかった人もまた近々同窓会を開くと思うので、また集まろうね!

11月27日記 関 咲織

2016年版会員名簿 広告主一覧(114件)

ご協賛ありがとうございます。

- [同期会] アカシア41期会、62回三金会、アカシア62回、アカシア65回
- [職域アカシア] 中国電力アカシア会、アカシア歯科医会、県庁アカシア会
- [クラブアカシア] 広島大学附属高等学校野球班OB会、アカシアサッカークラブ
- [企業・個人(卒業回順)] (株)大本組、広島管財(株)、大和燃料(株)、千田興業(株)、賀茂鶴酒造(株)、島 外科内科、(株)大之木ダイモ、(株)東広島ケーブルメディア、(医)岩国病院、山崎 節子、キョーリツ(株)、(医社)日域医院、(医)ヒノ井医院、(株)大方工業所、萬国製針(株)、日の丸産業(株)、メガネの田中チェーン(株)、特別養護老人ホームたちばな苑、井藤 壯太郎、(株)立芝、(株)紀陽、(医社)博愛会、(株)合人社計画研究所、新中央工業(株)、馬場 則行、アイトフース(株)、(株)さくら保険企画、大和重工(株)、横手 靖吾、広島運輸(株)、(医社)桃李会 平和の里、慶友整形外科、(株)ダイナミクス、東洋紙業高速印刷(株)、(医)翠和会 養神館病院、(医)わかば会 岩本内科医院、井藤矯正歯科、(株)天島、(南)丸益 西村屋、マルニヤ(株)、(南)敬愛ファーマシー、吉元 徹也、(株)中国新聞社、ひろしま交流協同組合、(株)シティガス広島、(医社)俊幸会 中川外科胃腸科、産婦人科 長尾クリニック、(株)みづま工房、(医社)曙会 佐々木外科病院、(株)広島東洋カーブ、松本 峰人、長沼商事(株)、(株)シンコー、(医社)祐和会 大石クリニック、(株)アルツト、山陽工業(株)、(株)山縣本店、アカシア学生ハウス、つばめ交通(株)、ニッポハウス(株)、さんもく工業(株)、(株)マツヤ、大手町こぶけ内科クリニック、小川電気通信(株)、(医社)楓会 林病院、(株)ユニバーサルポスト、(医社)福原医院、(株)広工、(株)融合事務所、アクアマルシェ合同会社、竹末洋紙(株)、折口内科医院、ウエノヤビル(株)、むぎ耳鼻咽喉科医院、シンセイ(株)、(医)わかみやメンタルクリニック、ネットトヨタ中国(株)、D.P.C.第一入力センター、カルビー(株)、畑秀樹税理士事務所、(株)部谷工務店、(南)ジュエパ、熊野税理士事務所、一般社団法人 フォーギブネス・フロム・ヒロシマ、広交グループ協同組合、(医)松本歯科医院、(株)広重 カーブス事業部、まえた内科呼吸器科、クリエイト コミュニケーション、往診歯科おだ、加川整形外科病院、五日市ファミリー歯科、備北ななつか病院、(医)光臨会 荒木脳神経外科病院、IVFクリニックひろしま、(株)福屋、菅坂税理士事務所、(医)一陽会 原田病院、楠原塚雑誌工業(株)、(株)千葉物流倉庫、堀口海運(株)、(株)鳥屋、エス(株)、(株)広瀬印刷、(株)たきのほり不動産、八千代工業(株)

山崎 節子(44回)さんからのご紹介



に専念。音大に進み、卒業後は広島大学のピアノ講師を定年まで続け、現在は孫同様に可愛い小・中学生にピアノの手ほどきをしています。歌手になりましたが先輩が昨年立ち上げられたNPO法人「音楽は平和を運ぶ」を夫も巻き込んでお手伝いしながら合唱も続けています。

④東京コールドアカシアの重鎮で、私にとっては優しい兄の様な方です。

- ①土屋(松田) 照子(50回)
- ②広島市南区
- ③中学時代、新卒の中本薩雄先生率いるバレエ班、高校ではベテラン箱田順子先生が指導される合唱班でクラブ活動

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。たくさんです。

出てもうってま ええかいのま

会員リレー紹介 105

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

後藤 吟子(43回)さんからのご紹介



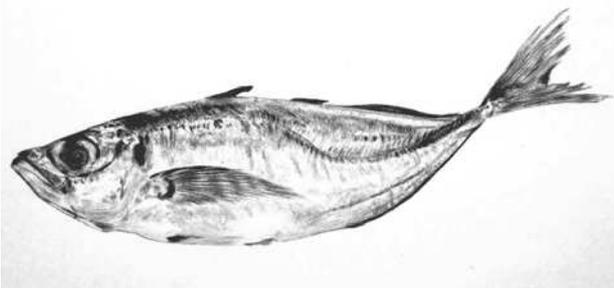
も三十有余年、結婚式・アカシア会・その他各種式典・パーティー・出陣式など日本全国津々浦々、「幸せのエンジェル」を届けております。四年半前より、広島に舞い戻り、自動車販売業に携わり、アカシアの同窓の皆さんにも大変お世話になっております。

④ 姐御肌の面倒見の良さで、本当に頼りにする後輩です。今宵も飲みに行きますか？

- ① 横本 良二(69回)
- ② 広島市西区
- ③ 高校時代に応援団に入ったのをきっかけに、大学でも応援道

アカシア
ミニギャラリー

デッサン



高校で選択した美術の長岡強先生は、一夜漬けて描いて授業の最後に提出した絵を見て、「いつ描くんかと思っただけで、なかなか目の付け所がええじゃないか」と、サボっていたことはお見通しなのに褒めてくださいました。その後描きもしなかったのに描ける

という気がしたのは、そのおかげでしょう。最近になって、鉛筆、色鉛筆で時々デッサンをするようになりました。よく見て、見たまんまに描いているだけですが、出来上がってみると立体感が出るのが面白いところです。

前田 慎一(72回)

事務局だより

◆新事務局員あいさつ



月例アカシア会の下幹事として2015年春からアカシア会館に通う中、事務局へのお話しをいただき、11月より在席しております。早く一人前になって、アカシア会の活動を支えられるよう努めてまいります。みなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。中井 満理(83回)

～各学年の幹事の皆様へ～

アカシア会では同期会などのお知らせ発送用に宛名印刷を承っています。宛名シールであれば1シート(10人分)100円です。詳細はアカシア会事務局までお問合せ下さい。

Tel.082-253-5581(平日10～15時)

◆アカシア会会員数(1～105回)

(2015年12月10日現在・単位：人)

	人数	男性	女性
会員数	15,815	10,673	5,142
現存者	11,376	6,752	4,624
不明	1,209	858	351
物故者	3,230	3,063	167

報 告

(2015年7月以降判明)

旧校長 新堀 通也 様	平成26年3月24日
27回卒 上野 義夫 様	平成18年6月21日
29回卒 阿川 弘之 様	平成27年8月3日
30回卒 土井 達郎 様	平成27年5月12日
33回卒 長沼 博 様	平成27年7月7日
片山 敏之 様	平成27年1月25日
35回卒 仮井 郷實 様	平成26年4月27日
36回卒 松本喜久雄 様	平成26年9月6日
37回卒 岡本 敦美 様	平成26年8月8日

37回卒 米山 仁英 様	平成26年10月3日
甚本 桂 様	平成26年11月16日
38回卒 守澤 安生 様	平成26年1月26日
石田 民生 様	平成27年8月3日
41回卒 前野 長昭 様	平成27年8月17日
42回卒 藤原 興治 様	平成27年5月29日
山根 邦章 様	平成27年8月25日
43回卒 日山 欣昭 様	平成27年1月11日
藤井 侃二 様	平成27年6月13日
石井 泰行 様	平成27年11月23日
44回卒 脇本 崔 様	平成27年6月3日

44回卒 宮脇(高橋) 秩子 様	平成27年9月28日
46回卒 北村 和夫 様	平成27年2月27日
48回卒 菊地比呂志 様	平成27年6月29日
49回卒 倉本 戴壽 様	平成27年8月9日
51回卒 藤井 義昭 様	平成27年10月11日
57回卒 光藤 和明 様	平成27年10月18日
山田 容三 様	平成27年11月
58回卒 勝谷(野城) 成子 様	平成27年7月3日
入江 克明 様	平成27年10月18日
59回卒 小谷 幸生 様	平成27年12月6日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

12月例会レポート

開会挨拶は吉中康磨広島アカシア会
会長(50回)。「今回で最後となるアン
デルセンでの例会を楽しみましょう。」

アカシアジャズコンサート
ベース奏者 吉野 弘志氏(63回)



吉野さんは、高校時代よりジャズ
ベーシストの道を志し、東京芸術大学
に進学。サクソ奏者 坂田明さんとの
トリオでヨーロッパツアーなど、高
い評価を得てこられました。現在は、
ジャズ、現代音楽、民族音楽、ポップ
スなど、幅広く活躍されています。ま
た、共演いただいたギタリストの廣木
光一さんは77回生廣木(松本)右子さん
のご主人です。ジャズ、ラテン、即興
音楽など様々なジャンルの演奏のほ
か、作曲家としても活動されています。

このユニットは、共演も含むお二人の
40年に及ぶ活動を経てたどり着いた、
コントラバスとガットギターという最
もアコースティックで繊細な響きをも
つ編成とのこと。

「ジャズを始めた頃は、アメリカの
黒人のように演奏したいと思っていま
したが、次第に、ただ洋楽の真似をす
るのではなく、いろいろな音楽の要素
を取り入れながらも、自分達がせず
にはいられない、人の心に響く音楽を
作りたい、と思って日夜演奏していま
す。」との挨拶の後、4曲を演奏して
いただきました。

1. Alvorada(夜明け) Cartola作曲
2. O Mundo e um Moimho
(人生は風車) Cartola作曲
3. Boto(河イルカ)
Antonio Carlos Jobim作曲
4. That's All I want from You
Nina Simone作曲

「たまたまブラジル曲が多くなりま
したが、ジャンルにとらわれない自分
たちの心身の発露が伝わったなら幸い
です。」2つの楽器が織りなすリズム
カルな音色が参加者の心に響きわたる
素敵な演奏でした。

懇親会

11月にご逝去された前アカシア会
長石井泰行氏(43回)を偲び、向井恒雄
アカシア会会長(50回)が献杯。

ビンゴ大会は、例年以上の諸先輩方
からの景品ご提供により、大盛況。急
遽1月の例会でもビンゴ大会を開催す
ることになりました。ご協力いただき、
ありがとうございました。

12月17日記 沖本 真朗(83回)



12月例会出席者(敬称略93名)

- (41)菊地日朗、(43)後藤吟子、(44)荒木英昭、石田信枝、泉
陽子、海部蓉子、加藤義明、河口京子、澤田佐喜子、山本正一、
米山栄子、(46)岡田芳子、榎井康子、(47)大野高子、湯浅純吉、
(49)奥村誠哉、(50)井藤壯太郎、小川玲子、斎藤百合子、鈴
川 清、田辺宏子、土屋照子、松本幸子、向井恒雄、吉中康磨、
(51)土玉康弘、西田寛子、(53)馬場則行、山手愨正、(54)藤
井寿江、(55)吉原通代、(57)神鳥京子、佐々木隆雄、天島純子、
安田敬子、(59)安藤一二、河原和子、三好 新、(63)安藤伸子、
岡崎純子、岡本恵子、小川秀子、甲斐 稔、陰山秀明、木山 茂、
久笠加代子、小武家暁子、阪本郁子、佐々木香代子、佐々木
淑子、隅田秀美、妹尾美登里、谷本佳都子、堤 良子、中尾
正和、西尾良子、三谷純子、山脇健盛、吉野弘志、(65)阿部
延美、末田郁子、広田美枝、谷田部広志、(67)高橋浩一、高
橋裕子、竹爪真弓、(68)平尾 真、(69)榎本良二、(70)越智
ようこ、(72)小田義仁、榎井純江、(76)宮井ふみ子、(77)石
本一成、佐々木順一、佐々木朋子、菅坂典子、村主公夫、中
村智恵、日野隆太郎、廣木右子、松田里絵、吉貴弘佳、(78)
今村彰宏、(81)木下和敬、(83)沖本真朗、片上千枝、中畝将博、
松岡倫子、松本京子、(84)神鳥 静、中野絵里、(85)栗栖史臣、
(90)廣幡美和

会報編集委員会

平成27年8月22日、アカシア会館にて、甲
斐稔事務局長(63回)をゲストにお招きし、今
年度下期会報編集会議を開催しました。読者
の皆様喜んで頂ける紙面づくりを目指し、
長時間に及び議論しました。主な議題は、①
報告事項、②下期月例版掲載計画立案、③
全国版1月号掲載計画立案。上期に引き続き、
会員の皆様にご登場いただくコーナーも用意し
ますので、御協力お願いします。また、当委員
会に参加されたい方は是非、ご連絡下さい。



後列左より 三隅俊行(66)、宮井ふみ子(76)、大田陽子(74)、
吉野かおり(79)、佐々木隆雄(57)、
前列左より 甲斐稔(63)、委員長: 陰山秀明(63)、副委員長: 中本泰弘(65)

会報『アカシア』500号達成!月例版もぜひと購読を

全会員にお配りしている全国版(1月7月)と、それ以外の月に発行している月例
版を合わせて、会報『アカシア』は2015年10月で遂に500号を発行しました。

今後もアカシア会より会員の皆様へ、母校の様子や会員のご活躍をお知らせして
まいります。

月例版会報は、年間購読料2,000円をお支払いくださった方にお届けしています。
購読のお申込みは、アカシア会ホームページ<http://www.acacia100.net/> から、ま
たは、お電話(082-253-5581)、Eメールakashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp にてお
願います。

浩然の気

松井政明先生、野中幹夫先生、三河宏先生、酒井秀二先生、
三宅重徳先生

出てもろうてもええかいのお

- 小川(於保)玲子(50)→大方幸三(46)→石井泰行(43)→
湯崎英彦(75)→相良秀道(76)→松林(松田)瞳(93)→柴田愛花(97)→
松田(三村)道枝(58)→上野谷拓也(57)→神鳥静(84)→木本薫(57)→後藤吟子(43)
永井隆理(87)→天野恵(95)→大上真司(89)→林(財満)優子(87)→江木典之(86)→
メンキナ(土本)美紗子(87)→上野和憲(87)→笹木頭一(77)→恵木(伊達)奈緒美(76)→
末田(佐野)郁子(65)→新井俊一郎(41)→山崎(藤井)節子(44)

ビバ!アカシアカップル/アカシア親子じゃけえ

庄司孝(44)・利枝(44) / 野地潤家(第15代校長)・高津(野地)玲子(61)

(敬称略)

平成26年1月号から12月号
までにご登場いただいた方々
です。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵 / 〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31
TEL(082) 422-2121
東京支社 / 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9
TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌つて
果てもなく 夢かりたてる
飲ぶの歌 辛きその日も